

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	3月31日 その他必要がある場合は、 あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人 及び 特別口座管理機関	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。

	証券会社等に 口座をお持ちの場合	証券会社等に口座を お持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社 等になります。	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-232-711 (受付時間 土・日・祝日を 除く9:00~17:00)
各種手続 お取扱店 (住所変更、株主 配当金受取り方 法の変更等)		三菱UFJ信託銀行 本店及び全国各支店
未払配当金 のお支払	三菱UFJ信託銀行	本店及び全国各支店
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

### ● 株主様のご住所・お名前等に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

### お問い合わせ先

お取引のある証券会社 または  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電子提供制度専用ダイヤル 0120-696-505  
9:00~ 17:00(土・日・祝日を除く)  
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>



## 平河ヒューテック株式会社

〒108-0014 東京都港区芝四丁目17番5号 相鉄田町ビル7F  
TEL 03-3457-1400 ホームページアドレス <https://www.hewtech.co.jp/>



# 第84期 株主通信 [中間報告書]

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日



## 平河ヒューテック株式会社

証券コード：5821

## ヒューテックグループ基本理念

- 1 わが社は、世界水準の製品を創り出すことにより、持続的な成長を遂げ、永遠の存在を目指す。
- 1 わが社は、国際社会に共生する一員であることを意識するとともに、法規等を遵守し、環境保全に努力する。
- 1 わが社は、すべての関係者・機関に調和のとれた満足を提供することを目標とする。
- 1 わが社は、有意義な企業活動を展開することにより社会に貢献する。
- 1 わが社は、互いの価値を認め合う人々の集団であり、熱意をもって向上・革新へ挑戦していく。

## 平河ヒューテックの製品



## 株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り心より感謝申し上げます。  
 車載市場においては一部で生産停止の影響が見られたものの堅調に推移しました。半導体については生成AI用途向けへの積極的な設備投資の動きが見られた一方で民生エレクトロニクス向けの設備投資は低調に推移しました。産業機器市場ははまだ低調に推移しており、先行きが不透明な状況です。コスト面においては原材料価格の高騰が継続しました。

このような環境のもと、電線・加工品セグメントにおいては、車載用ケーブルは引き続き堅調に推移しました。エネルギー産業関連ケーブルは北米市場の堅調な需要を受け増加しました。情報通信向けケーブルにおいても、サーバ/ストレージ用ケーブルの新規受注、決済端末機器需要増により増加しております。半導体製造装置は復調傾向にありますが、回復は生成AI用途向けが中心であり在庫調整の影響が続いております。産業機器用ケーブルも需要の停滞が続き低調に推移しております。電子・医療部品セグメントにおいては、放送機器は放送局の建て替え需要により売上が増加しました。医療部品の分野においては、医療用特殊チューブの売上が増加しました。

以上の結果、売上高は160億20百万円(前年同期比12.3%増)となりました。売上高が増加したことにより、営業利益は12億51百万円(同61.9%増)となりました。経常利益は13億7百万円(同18.2%増)となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は10億5百万円(同48.5%増)となりました。

当期の中間配当につきましては1株につき22円とさせていただきます。

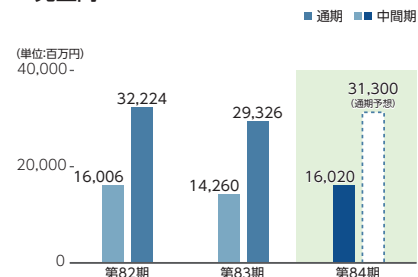
今後の見通しにつきましては、国内経済においては、雇用・所得環境の改善から緩やかに回復しましたが、海外経済の下振れによる影響を受け足踏みがみられました。海外経済においては、米国は堅調に推移しておりますが、欧州では高い金利水準の継続に伴う影響により低調な動きとなりました。中国は輸出が堅調に推移したものの、不動産投資や個人消費の低迷等により低調に推移しました。中東情勢の緊迫化、ウクライナ紛争の長期化と、依然先行きが不透明となっております。当社の事業におきましては、IoTデバイスの拡大は最先端の電子機器のみならず、既存の機器においてもそのネットワーク化により新たな高速大容量伝送・高信頼性ケーブルの需要を生み出しており、当社の活躍する領域は拡大しています。先行きが不透明な中であっても、当社が追求する伝送特性を必要とする領域の成長は続いております。この強みと専門性を高め、売上、利益の拡大に努めてまいります。

役員・従業員一同、一層の努力をしております。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

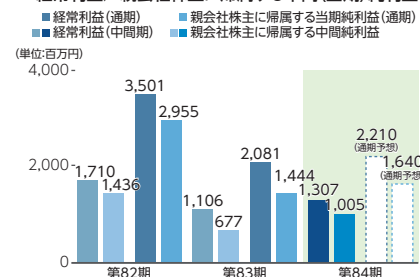
2024年12月

## 連結財務ハイライト

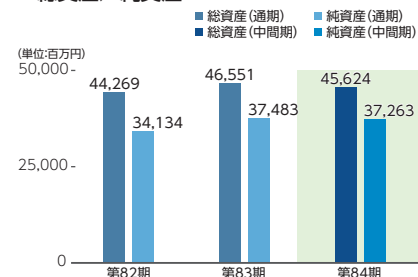
### ● 売上高



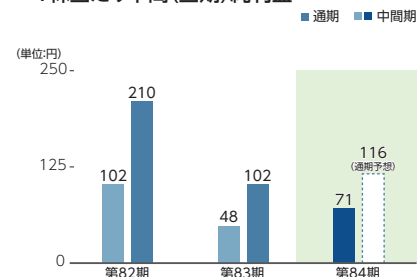
### ● 経常利益/親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



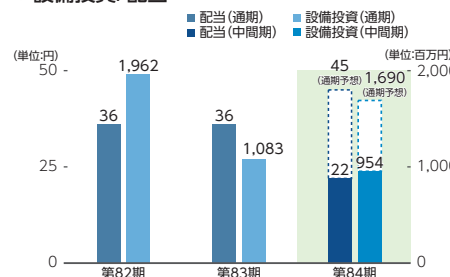
### ● 総資産/純資産



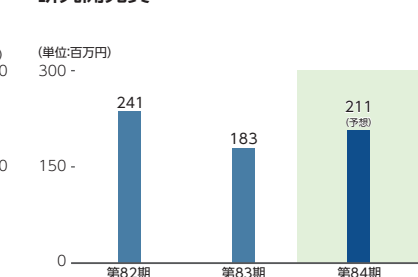
### ● 1株当たり中間(当期)純利益



### ● 設備投資/配当



### ● 研究開発費



中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2024年9月30日現在)	前期 (2024年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	28,710	29,102
現金及び預金	12,926	12,691
受取手形、売掛金及び契約資産	7,432	7,845
棚卸資産	7,750	8,172
その他	600	393
固定資産	16,913	17,448
有形固定資産	12,768	13,286
無形固定資産	920	1,003
投資その他の資産	3,224	3,158
<b>1 資産合計</b>	<b>45,624</b>	<b>46,551</b>

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2024年9月30日現在)	前期 (2024年3月31日現在)
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	4,814	5,534
固定負債	3,546	3,534
<b>2 負債合計</b>	<b>8,360</b>	<b>9,068</b>
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	30,885	30,132
資本金	1,555	1,555
資本剰余金	1,412	1,412
利益剰余金	30,258	29,505
自己株式	△2,340	△2,340
その他の包括利益累計額	6,377	7,350
<b>3 純資産合計</b>	<b>37,263</b>	<b>37,483</b>
負債純資産合計	45,624	46,551

POINT 1

資産合計は、前連結会計年度末に比べ9億27百万円減少し、45億24百万円となりました。主な増加は、現金及び預金2億35百万円であり、主な減少は、受取手形、売掛金及び契約資産4億12百万円、建物及び構築物3億2百万円、原材料及び貯蔵品3億円、機械装置及び運搬具2億78百万円であります。

POINT 2

負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億7百万円減少し、83億60百万円となりました。主な減少は、短期借入金4億66百万円、未払法人税等2億1百万円であります。

POINT 3

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億19百万円減少し、37億63百万円となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する中間純利益10億5百万円であり、主な減少は、為替換算調整勘定10億8百万円、利益剰余金の配当2億52百万円であります。

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2024年4月1日から 2024年9月30日まで)	前中間期 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)
売上高	16,020	14,260
売上原価	12,262	11,070
売上総利益	3,758	3,189
販売費及び一般管理費	2,507	2,417
営業利益	1,251	772
営業外収益	172	362
営業外費用	115	28
経常利益	1,307	1,106
特別利益	—	9
特別損失	2	—
税金等調整前中間純利益	1,305	1,115
法人税、住民税及び事業税	303	466
法人税等調整額	△3	△32
非支配株主に帰属する中間純利益	—	4
親会社株主に帰属する中間純利益	1,005	677

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2024年4月1日から 2024年9月30日まで)	前中間期 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,380	1,838
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,786	△619
財務活動によるキャッシュ・フロー	△667	△242
現金及び現金同等物に係る換算差額	△326	546
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△399	1,522
現金及び現金同等物の期首残高	10,221	7,499
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,821	9,022

セグメント情報

【電線・加工品】

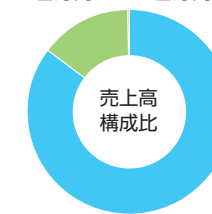
車載用ケーブルは引き続き堅調に推移しました。エネルギー産業関連ケーブルは北米市場の堅調な需要を受け増加しました。情報通信向けケーブルにおいても、サーバ/ストレージ用ケーブルの新規受注、決済端末機器需要増により増加しております。半導体製造装置は復調傾向にありますが、回復は生成AI用途向けが中心であり在庫調整の影響が続いております。産業機器用ケーブルも需要の停滞が続き低調に推移しております。以上により、売上高は136億92百万円(前年同期比13.9%増)となりました。売上の増加等により、セグメント利益は11億86百万円(同47.0%増)となりました。

【電子・医療部品】

電子の分野において、放送機器は放送局の建て替え需要により売上が増加しました。医療部品の分野においては、医療用特殊チューブの売上が増加しました。以上により、売上高は23億15百万円(前年同期比4.1%増)となりました。売上の増加等により、セグメント利益は5億14百万円(同20.8%増)となりました。

電子・医療部品  
14.5%  
2,315百万円

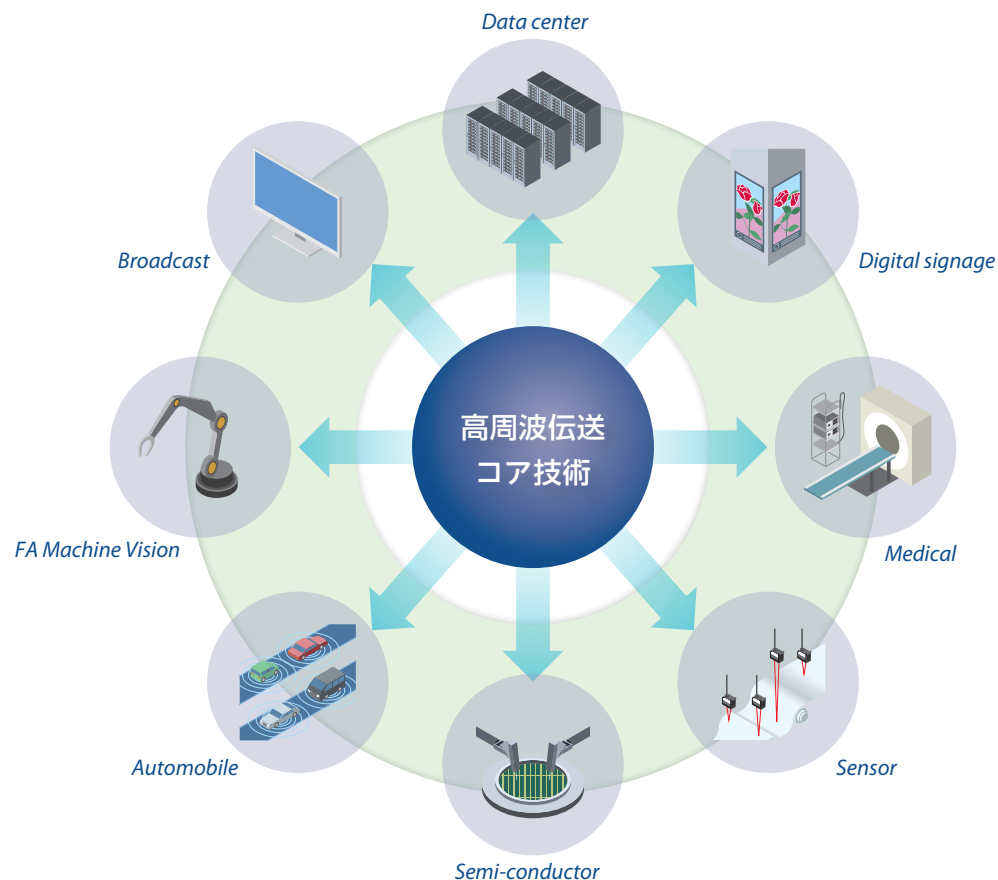
その他  
0.1%  
12百万円



電線・加工品  
85.4%  
13,692百万円

## HPC (High Performance Cable) 事業への取り組み

当社では半導体検査装置用同軸ケーブルから始まり、スーパーコンピュータ用ケーブル、サーバ/ストレージ用ケーブルと、約30年前から高速大容量のデータ伝送を可能とする高周波伝送技術を伸ばし続けております。生成AIの普及のみならず、映像配信、データセンタ、デジタルサイネージ、医療、センサー、半導体、自動運転、FAマシンビジョンといった大量のデータ処理を必要とする分野は拡大が続いており、当社がノウハウを積み重ねてきた高周波伝送技術の重要性が増しています。更なる成長に向けて世界最先端の高周波伝送技術が使われる分野への挑戦を続けてまいります。



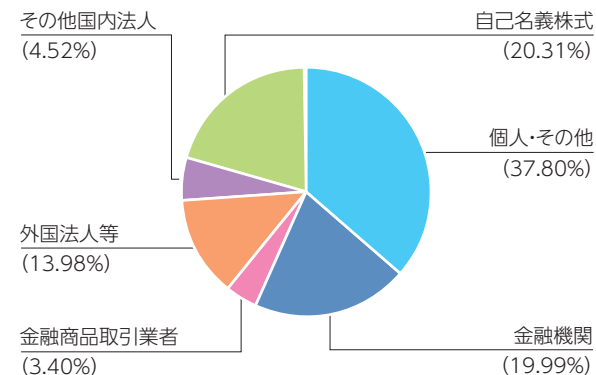
## 会社概要

商号 平河ヒューテック株式会社  
HIRAKAWA HEWTECH CORP.  
設立 1948年9月  
資本金 15億5,507万760円  
従業員数 2,212名(連) 350名(単)

### 役員氏名 (2024年9月30日現在)

ヒューテックグループ代表取締役会長	隅田和夫
代表取締役	篠祐一
取締役	目黒裕次
社外取締役	沼田恵
社外取締役	戸田哲郎
常勤監査役	橋本孝
社外監査役	阿部博
社外監査役	江部安弘
執行役員社長	篠祐一
執行役員	澤口健一
執行役員	小野関義孝
執行役員	林繁夫
執行役員	佐藤彰洋
執行役員	佐藤光則
執行役員	福田博国
執行役員	佐藤雄一郎

## 所有者別株式分布状況



## ヒューテックグループ

海外拠点	国内拠点
<ul style="list-style-type: none"> <li><b>連結子会社 (製造)</b> HIKAM ELECTRONICA DE MEXICO, S.A. DE C.V. HIKAM TECNOLOGIA DE SINALOA, S.A. DE C.V. 福泰克(惠州)电子有限公司</li> <li><b>連結子会社 (販売)</b> HIKAM AMERICA, INC. 上海河拓克貿易有限公司 福泰克香港有限公司 台湾福泰克股份有限公司 HEWTECH (BANGKOK) CO., LTD. CONNPRO INDUSTRIES INC.</li> <li><b>連結子会社 (製造・販売)</b> 福泰克(連雲港)电子有限公司 HEWTECH PHILIPPINES CORP. HEWTECH PHILIPPINES ELECTRONICS CORP.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>本社</b></li> <li><b>営業拠点 (営業所)</b> 本社 東北営業所 古河事業所 中部営業所 関西営業所</li> <li><b>開発・生産 (工場・事業所)</b> 古河事業所 桃生工場 福島工場 新潟工場</li> <li><b>連結子会社 (製造・販売)</b> 四国電線株式会社 株式会社新潟電子</li> </ul>

## 当社ホームページのご案内



<https://www.hewtech.co.jp/>

IR情報をはじめ、当社をよりご理解いただくための情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。